

第6章

伝統行事等の資質の向上

1 歴史的風致を維持するために重要な伝統行事の資質向上

(1) 祭礼復興事業

- ①整備主体 民間（団体）
- ②活用する国の支援事業の名称
歴史的環境形成総合支援事業〈平成21年度～22年度〉、
文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業〈平成23年度～24年度〉
- ③事業期間 平成21年度～
24年度
- ④事業の概要

高山祭を伝統的な様式に復元するため、関係機関と連携を図りながら、重点区域の文化性の根幹である高山祭の屋台行列の祭礼次第の整理、記録等を行ない、また祭礼衣装等については計画的に整備を行う。

- ⑤事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由

重要有形民俗文化財である高山祭屋台（山車）の通る景観を、それにふさわしいものに維持することは、重点区域内の住民にとって生活様式や、町並みを保全し、景観を形成する際の基準となっている。しかし、近年は屋台を引く際の伝統的な様式や衣装等が失われるなど、祭景観として問題となっている。

重点区域の景観形成に大きな役割を果たしている伝統行事に対して支援を行ない、祭景観を向上することにより、高山祭における歴史的風致の向上とともに、景観形成に対する住民意識の向上も含め大きな効果が期待できる。



高山祭衣装



高山祭衣装



高山祭衣装

(2) 屋台保存事業

①整備主体 高山市

②活用する国の支援事業の名称 市単独事業

③事業期間 平成2年～

④事業の概要

高山祭の中心である屋台を保存する活動（屋台の管理、からくりの小修理・維持管理）を行う団体に対して補助を行う。

⑤事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由

屋台は高山祭の主役であり、高山市の伝統文化の象徴である。

非常に価値の高い意匠を持つ屋台の保存管理については、専門的な技術による管理、からくりの伝承等が不可欠となっている。当市には屋台の管理をサポートする団体として高山屋台保存会や高山・祭屋台保存技術共同組合といった専門的な団体が活動を行っているが、その保存管理には多額の資金が必要なため、補助金を支出することにより団体の基盤を強化し、今後も引続き保存できるように支援する。



からくりの伝承風景

(3) 伝承芸能保存事業

- ①整備主体 高山市
- ②活用する国の支援事業の名称
市単独事業
- ③事業期間 平成2年～
- ④事業の概要

地域の住民が伝統行事の中で行っている伝承芸能、祭礼活動に対して補助金を支出し、その活動を支援する。

- ⑤事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由

江戸時代から現在まで行われてきた伝承芸能、祭礼活動はそこに住む人々の教養や娯楽、環境等から生まれた特有の伝承文化であり、誇りである。地区の歴史的風致を維持して上で、その景観と一体となり伝承されてきた伝承芸能、祭礼活動は近年、後継者の不足や保存会活動費の不足等で伝承していくことが難しくなっている。

保存伝承している団体に補助金を支出することで活動のPRや団体基盤の強化し、今後も引続き保存伝承できるように支援する。



錦山神社獅子舞



宗和流茶道